

慢性前立腺炎 / 慢性骨盤痛症候群 (NIH 分類カテゴリーⅢ) に関する 意識調査

監修 横山 修 福井大学医学部泌尿器科学講座教授

良性前立腺疾患のなかで最も治療に苦慮するのが慢性前立腺炎です。米国国立衛生研究所 (National Institute of Health ; NIH) による前立腺炎の分類では、カテゴリーⅠが急性細菌性前立腺炎、カテゴリーⅡが慢性細菌性前立腺炎とともに細菌が検出されます。細菌が証明されないカテゴリーⅢは慢性前立腺炎 / 慢性骨盤痛症候群 (chronic prostatitis/chronic pelvic pain syndrome ; CP/CPPS) と呼ばれ、90%以上を占めますが、炎症を有するⅢA と炎症を有さないⅢB に細分されます。また、症状を有さないが前立腺生検組織標本や前立腺圧出液・精液中に炎症所見を認めるものをカテゴリーⅣ (無症候性炎症性前立腺炎) としています。カテゴリーⅢでは会陰部や骨盤部のさまざまな部位に痛みや不快感が自覚される他、頻尿、残尿感、尿意切迫感などの蓄尿症状や排尿症状もみられます。痛みや不快感が特徴的ですが、診断や治療が困難な症例も多く見受けられます。実臨床においてどのような診断手段を用い、どのように治療しているのか、Office Urologist に対してアンケート調査を計画しました。

(参考文献：高橋 聡, 和田耕一郎, 公文裕巳, 増田 均, 鈴木康之, 横山 修, 本間之夫, 武田正之. 日本語版 National Institute of Health Chronic Prostatitis Symptom Index の作成について. 日泌尿会誌. 2014 ; 105 : 62-5.)

アンケート実施要項

調査対象者：日本泌尿器科学会認定専門医 (開業医) 50 名
有効回答数：47 名 (94%)

調査方法：FAX, E-mail

調査対象地域：全国